

別紙2

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」第5章第12の1の(1)イ(イ)②及び(2)イに基づき、インフォームド・コンセントを受けない場合において、当該研究について当院ホームページへの掲載により公開する情報

1. 研究機関の名称 : 呉共済病院
研究責任者の氏名 : 三戸森 新

2. 研究の概要

①研究の名称

看護師の膀胱内注入療法過程における抗がん剤による汚染の可視化

②研究の目的

看護師の患者の膀胱内注入療法施行から48時間以内の援助場面において抗がん剤に見立てた液体を使用し、どの部分で汚染されているのかを含め現状の可視化を行ない、曝露の問題点を整理、検討を行う。

③研究の方法

看護師の患者の膀胱内注入療法実施から実施後抗がん剤成分が体内から抜けきれるとされる48時間以内の援助過程を再現し、その中で抗がん剤による曝露リスクが最も高いと考えられる場面を抽出。対象者にその場面での実進行動のシミュレーションを行ってもらい、その後、蛍光液漏出の有無を確認する。蛍光液の漏出がある場合には曝露リスクが高いと判断する。その場面ごとの汚染状況は写真で撮影を行う。

④研究の実施体制

蛍光液を使用し、人体モデル人形を使用して場面ごとにシミュレーションを行う実験研究とする。

⑤研究対象者の選定方針

研究の目的を説明し同意を得た勤続年数の異なる当院で膀胱内注入療法に携わる泌尿器科病棟所属の看護師6名

3. 研究に関する資料の入手又は閲覧について

研究計画書及び研究の方法に関する資料は入手又は閲覧することができま